



衝撃吸収部材の高速圧縮試験

落重試験により、衝撃吸収部材の高速圧縮特性を評価できます。

評価技術の特徴

- 部材の変形様式に合わせて特性を評価できます。
- 投入エネルギー、圧縮速度をそれぞれ変化させた試験が可能です。
- 所定の変位まで一定速度での圧縮が可能です。

適応可能な分野例(ウレタン、発泡樹脂、ハニカム使用部位)

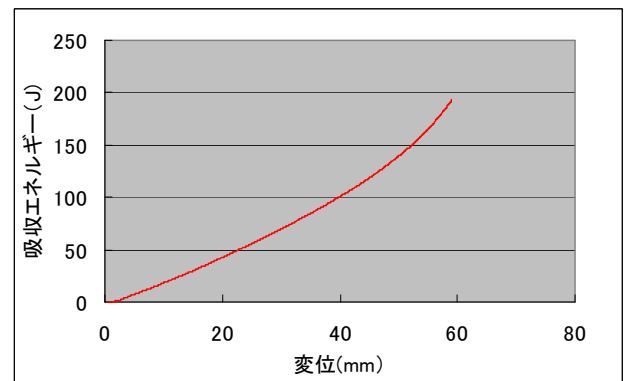
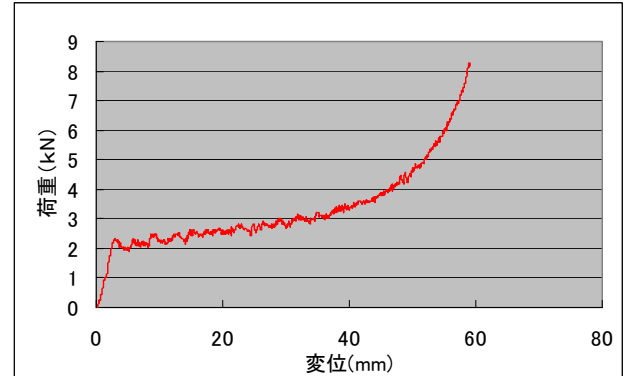
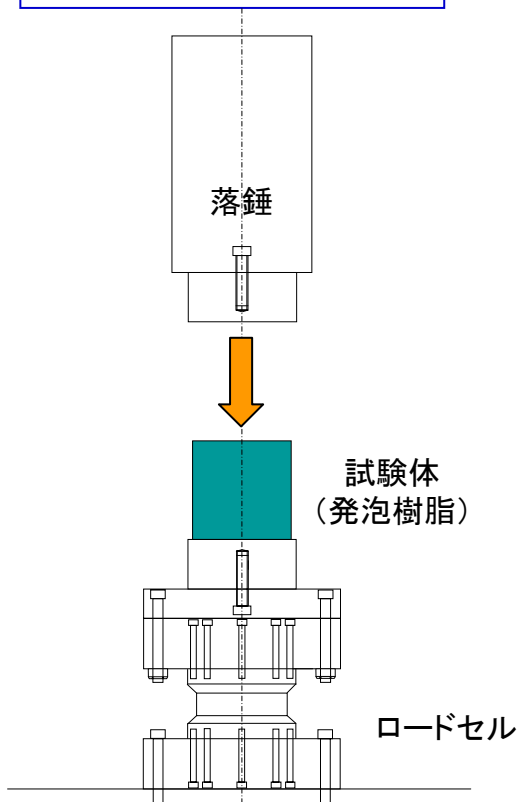
- 自動車：バンパー、シート
- 安全器具：ヘルメット、プロテクター
- 物流：梱包緩衝材
- 船舶：津波避難救助艇
- スポーツ：プロテクター、フェンス

試験仕様

- 付与エネルギー：0.02~20(kJ)
- 圧縮速度：~10m/s
- 試験体設置間口：~300mm(~6kJ, ~10m/s)、~450mm(~20kJ, ~7m/s)

評価事例

試験方法の一例とその解析データ



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2014 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。